

2023/12/8開催 いけんひろば  
～闇金融（怖～い金貸し）を知ろう！～  
オンライン開催回 いけんのまとめ

1班（大学生世代1名・社会人世代1名）

【テーマ：リーフレット等（リーフレットとクイズ動画）のわかりやすさについて】

○それぞれのリーフレット等について、デザインは見やすかった・分かりやすかったですか。反対に、どのような部分が見つづらかった・分かりにくかったですか。

<「個人間融資に要注意！」（リーフレット）について>

- 個人間融資は法律で規制されていて、それに抵触する可能性があるということは分かった。「貸金業法の規定」の部分難しい。字が小さいし、この部分をもっとスッキリしたらいいと思う。
- 「貸金業法の規定」の部分で分からない言葉に引っ掛かってしまい、読み進められなかった。黒の背景に赤で「個人間融資」と書いてあるのが目について印象に残った。
- ある程度 SNS をやりはじめた中学生にも分かる方が良い。
- いきなりこのリーフレットを学校で渡されても、パッと見では自分とは関係ないと思ってしまうと思う。「SNS 等で勧誘し、お金の貸し借りをを行う「個人間融資」が良くない」ということがもっと中心にあった方が良い。パッと見たときに、「自分もこれ気をつけなければな」「この前こういうことがあったな」等、そういう感覚にもつながるので、それがもっと分かるようにデザインされていたら良いと思う。
- SNS でやり取りすることはたくさんあるので、もっと具体的な例があったほうが良い。
- 自分が高校生だったら読まないと思う。色々なプリントと同時に配られると、このリーフレットは文字が多いのでパッと見ただけで終わりそう。
- 「SNS 等で勧誘し、お金の貸し借りをを行うこと」が個人間融資ならば、SNS を使っている高校生であれば「自分に関係あることだ」となると思う。個人間融資が何か分かりやすい方が良い。「SNS 等で勧誘し、お金の貸し借りをを行う「個人間融資」は、たとえ個人が行う場合であっても、貸金業法の規定に抵触する場合があります。」の3行をもっと中心にしたデザインの方が分かりやすい。
- 法律の記載が多い。相談窓口もパッと目に付かない。もう少し情報を分かりやすくしてもいいと思う。
- このリーフレットだと、どこに連絡すればいいのかが分かりにくい。もう少し安心して、頭に残るような連絡先が1つ書いてあれば印象に残ると思う。

<「いわゆる後払い（ツケ払い）現金化に要注意！」（リーフレット）について>

- パッと見て「特徴1」「特徴2」を見ても何だろうと分からなかった。また、リーフレットにある「※1」「※2」の小さい文字はそこまで見ないと思う。目と頭を凝らしてみないと情報が入ってこない。
- 問い合わせ先として各地の財務局の連絡先が書いてあるが、色々な県名が入っているので日本地図が一つ入っていると親しみやすい。
- 事例部分が少し難しかった。
- 相談窓口について、どんな時に財務局に電話し、どんな時に金融庁に電話したらいいのか、違いを示してくれると分かりやすい。
- 「事例」は分かったが、間に小さく文字が入っているので事例と赤枠部分のつながりが分かりにくい。「○○があると○○が起きる」と書いてあればつながりをもっと分かりやすいと思う。

<「いわゆる「先払い買取」現金化に要注意！」（リーフレット）について>

- 「特徴1」の「商品売買」に※印がついているが、※印より下を見なければ説明が分からないので見づらい。「商品売買」に吹き出しがついて、注釈の内容がコンパクトにまとまって挿入されているともっと分かりやすいのではないかな。
- 悪質な業者が絵ではイメージがつかない。黒い人間の形をした影だと怖いイメージはあるが、実際に悪質な業者は人間なので、「想像の世界での悪質業者」になってしまって現実味が湧かない。
- マンガの方が視覚的に伝わってくるので良い。
- 誰に向けたリーフレットなのか分かりにくい。一番下に闇金融業者の罰則の記載がある。闇金融業者のことを怒っているポスターなのか、被害者にならないように「こういう事例があるから気を付けて」と言っているポスターなのか迷った。情報が多い。

<4コママンガについて>

- 内容が頭にすっと入ってきた。事例を掲示板風書いてあるのが身近に感じた。自分たちが目にするそのものを例としているので分かることができた。
- リーフレットよりもマンガの方が具体性が高い。
- マンガだと見ようと思う。

【テーマ：闇金融の具体的な被害事例について】

○闇金融の被害に遭った、金融トラブルに巻き込まれた、といった話を身近で見聞きしたことはありますか。それはどのような内容でしたか。

- SNSで「副業紹介」のような投稿をきっかけに闇金融に巻き込まれてしまったという事例を聞いたことがある。SNSのショート動画やダイレクトメールで「お仕事やってみませんか」と情報が流れてきて、「やってみたい」「興味がある」というような反応をすると、「お金を貸すからそういう仕事をやってみましょう」と闇金融に巻き込まれた事例があると聞いた。
- 自分の周りでは聞いたことはないが、トラブルに巻き込まれるとしたらSNSだと思った。
- SNSでメッセージがくることがあるが、あまりかかわらないようにしている。

○闇金融について、もっと知りたいことはありますか。

- もし闇金に引っかかった場合、なかったことにできるのか。復活することはできるのかを知りたい。借りた金額にもよるが、どれくらいの期間があれば普通の生活に戻れるのかを知りたいと思った。
- いつ闇金融にひっかかるか分からない。巻き込まれたら終わりという印象。救済の方法や闇金にひっかかりそうなサインがあれば知りたい。闇金融に踏み込む前に、その手前でおかしいと知れたら良い。

【テーマ：注意喚起の方法について】

○このような注意喚起の広告はどのような場所にあると目にとまりやすいと思いますか。（例えば、駅構内、

電車内、学校内等)

○できるだけ多くの人の目に留まる方法として、何が効果的だと思いますか。

- うんこクイズは最初、小学生向けかなと思った。動画配信の SNS では元々見たいと思っている人でないと見ないと思うので、どこか目につく場所で流れていたら良い。学校など、わざわざ調べなくても見られるようなところで流れていれば、15 秒しかないのでも最後まで見られる。
- うんこクイズは 15 秒と短いので SNS のショート動画の方が気軽に見てくれると思う。ショート動画なら本動画に入らなくても流して見てくれるので、そういうのを活用すると思う。
- SNS を見ていた時に、コロナワクチンの動画が流れてきたことがあった。小学生や若者向けにも省庁の動画を流すと良いと思った。
- 色々なリーフレットを見て、文字が多いと見づらいと実感した。文章主体だと見る気持ちになれない。大事な部分だけを切り抜き、イラストも色々入れた方がもっと多くの人に見てもらえるのではないかな。
- 図がもっと入っている方がいい。うんこドリルは絵本を読んでいる感覚になれたので、視覚的に訴えるような、楽しめるような内容であれば身近に感じられると思う。
- うんこクイズ動画について、電車内で見て考えるのにちょうどいいと思った。電車内広告を見た人を金融防止に関するホームページや SNS 動画に誘導できると、若い人も見てくれると思う。
- 多くの人の目にとまるために、インフルエンサーに周知してもらおうといい。以前ガス会社がインフルエンサーとコラボし「節電をしながら生活してみた」という企画をしていた。その動画を見て、節電の取組があることを知ったので、同じように周知ができると良いと思う。

○SNS (YouTube、X、Instagram) で配信をしておりますが、他に若者が目にしやすい方法や時間帯はありますか。

- 金融庁の動画は自分からはあまり調べないと思う。動画は自分が好きなものを調べて観るので、目にしてもらうために大事なのは時間帯というより配信する場所だと思う。パッと目に入るような SNS 動画の広告が一番よく見る。あとは電車広告。広告であれば自分から探さなくても見る。

○もうすぐ成人になる高校 2 年生全員に、紙でリーフレットを配布することについて、どう思いますか。

- 自分が高校生だったら、配布された時点で見たあと、家に帰ってからもう一度見るくらい。リーフレットが「保存版」という感じになっていたら取っておくかもしれない。家族でも読める感じになっていると良い。
- リーフレットも全部バラバラに配られるので、冊子になっていた方が見やすい。また、最近は紙で見る習慣もないので、PDF 版や二次元バーコードで読み取る形式だと、あとで空いている時間に読むかもしれない。紙とデジタル両方を活用するとよい。

## 2班（社会人4名）

### 【テーマ：闇金融の具体的な被害事例について】

○闇金融の被害に遭った、金融トラブルに巻き込まれた、といった話を身近で見聞きしたことはありますか。それはどのような内容でしたか。

- 身近では聞いたことがない。
- 周りにはいない。自分はこどもと関わる仕事をしているが、被害に遭いそうになった、お金を貸したけど返ってこなかったという話は聞いたことがある。
- 身近で聞いたことはない。ドラマなどのフィクション作品で闇金融について見ることはある。ドラマ等の影響もあって、色んな人達も闇金融に対する警戒心が強くなっているのではないかと思う。

### 【テーマ：リーフレット等（リーフレットとクイズ動画）のわかりやすさについて】

○それぞれのリーフレット等について、デザインや内容は見やすかった・分かりやすかったですか。反対に、どのような部分が見づらかった・分かりにくかったですか。

<「個人間融資に要注意！」（リーフレット）について>

- 個人間融資という言葉に馴染みが全くないため、何に対する注意なのかイメージが湧かなかったというのが最初の印象。枠内を読んだが、詳細すぎて、具体的に何に注意してほしいかがわからなかった。親しみやすい表現にした方がいい。相談窓口にとっているスペースが大きいのがもったいない。小さくても気になれば見て相談するはずなので、相談窓口欄は小さくして良いと思う。
- 同意見。レイアウトが気になる。ハッシュタグの一文の文字サイズが少し小さい。また、子どもや外国の方には分かりにくい部分があるため、読み仮名を振ってほしいと思う。相談窓口の電話番号などをもう少し大きくして見やすくしてもらえるとよい。
- 個人間融資の事例にピンときていない。例えば、「このような勧誘を受けたら個人間融資かもしれません」という事例を示した絵やマンガが1つ2つほどあると、いざ自分がその場面に直面したときに個人間融資だと分かるのでよい。
- 相談窓口の欄は、他の2つのリーフレットよりも、ポスターとして見たときにすぐ分かる配置なのでいいと思う。電話番号が書いてあること自体はいいことだと思う。
- 個人間融資という言葉が分かりづらい。闇金という言葉の方が広まっている印象なので、闇金という言葉を出した方がいいかもしれない。また、「貸金業法の規定」というボックスについて、不当な利子を払わされる被害者に対する注意喚起というより、加害者側への注意に見える。悪意なしに個人間でお金を貸している人がいるのか。リーフレットでの注意喚起の対象が誰なのかなと思った。
- 「犯罪被害やトラブルに巻き込まれるなどの危険性があります。」という一文は、規定に反するということで、その上部の文と内容が被っているように見える。そこを削れば文字の量が減らせて、ふりがなもつけられると思う。
- トラブルにあったときの対処方法も載せてほしい。個人間融資に巻き込まれたら自分が住んでいる地域の警察に届け出た方がいい、などと掲載するのが良いのではないか。警察も適切にアドバイスしてくれると思うので「その指示に従ってください」ということを書けば、個人間融資をしようと思っている人に

対しても防ぎようがあると思う。

- 相談窓口をたくさん書いているのはいいが、それぞれどのような状況でかけたらいいのかが分かりにくい。「お金がないときはここに連絡」など、用途ごとに書いてほしい。

<「いわゆる後払い（ツケ払い）現金化に要注意！」（リーフレット）について>

- 最近 SNS でよく後払い現金収入の広告を見かけるのだが、本当に出来るのかなと思っている。数百万円を手にとって、高級ブランドのバッグなどを持って、「家族のためにいっぱい稼いだ、お金はお友達にも分けてあげて後は自由に使う！」といった内容の広告があったが、悪質なものではないかと思う。後払い・副業などでお金が戻りますよ、即日現金化できますよ、というのは、実際のところ連絡するとどうなるんだろうと思うことはある。このリーフレットを見ていたとしても詐欺に遭ってしまいそうで、お金が戻ってくるという広告を信じてしまう人はいそう。後払いの現金化の種類を分かりやすい内容にしてもらえたらいいなと思う。
- SNS 個人間融資に注意のリーフレットより分かりやすいというのが第一印象。実際の手口を知っていても手を出してしまう人もいると思う。そこを防ぐという観点で言うと、「個人情報悪用される」という内容をポップに表現するのがいい。最初はお金が手に入っているかもしれないけど、後々危険な目に遭うかもしれないということを、文章でなく、吹き出しで色々な被害の形を見せたら、「自分もそうになってしまうかもしれない」とイメージが湧きやすいと思う。全体的に「現金化」「つけ払い」などの言葉に注釈があればよりよいと思う。リーフレットなので、インパクトがあり目に留まりやすい方がよいと思う。
- 後払い現金化の仕組み自体を理解できていない。他のリーフレットに載っている手口よりも、今時な犯罪手口なのかなと思う。その分被害者も増えやすいのではないか。「金融ブラック OK」というのは、騙されているというよりは、闇金だと分かっているけど利用している人なのかなと思った。
- 金融庁の方に聞いたところ、闇金融の広告や勧誘行為に罰則が設けられたということだが、即日現金化などという言葉を見かけたときに、通報する手段があるといいと思った。
- 自分自身はこのリーフレットにはピンとこなかったが、つけ払いや金融ブラックという単語に対して、みなさんが見たことがあったり、意味を推測していたようなので、そういった単語を散りばめておくのは関心を持たせるために効果的だと思った。リーフレット上部に「今すぐ現金」「手軽に現金にご注意」「……などの甘い言葉にご注意ください！」「いわゆる後払い（つけ払い）現金化に要注意」と記述されている枠があるが、この区分けには意味があるのか。せっかく注意と書いているのに、いくつもあると効果が薄くなってしまうと思う。もう少しまとめられたらいいのではないかと思った。そのほか、リーフレット中央部に注釈があるが、真ん中は特に目を置く場所なので、細かい文字が多いと見づらい印象になってしまう。注釈は、補足情報であり読まなくても良いという意識で配置した方が読みやすいと思う。
- このリーフレットは闇金融であると分かっているが利用してしまう人が対象とのことだが、思っていた対象と違った。そうした人が対象だとすると必要な情報は「こういうことをしたらこういうことになるので、やめましょう」という形の注意を示した一番上と一番下の部分だけでよいと思う。情報が埋もれがちなので、それらをもっと強調した方がいいと思う。

<「いわゆる「先払い 買取」現金化に要注意！」（リーフレット）について>

- リーフレットが「このような闇金融業者がいる」→「現金化のパターン」→「具体的な手口や事例」→「利用してしまった場合のリスク」というように、上から下に見ていくにつれて、自分の身に降りかかることが分かりやすいつくりとなっている。話があっちこっち行かずストーリーが分かりやすいのがいいと思った。また、後払いと先払いは手順が逆だと解釈したが、小さな枠でもいいので、後払いと先払いの手法の違いが書いてあるといいと思った。それぞれの手口を独立したものとして考えてしまう人もいると思うので、逆のパターンもあるということの一つのリーフレットにまとめて記載すれば、より理解が深まると思う。
- リーフレット一番上の「商品の買取りを……にご注意ください！」という一文は、フリーマーケットアプリなどで個人間でやりとりをしていたら、クレームをつけられて「違約金を払え」と言われた、というようなケースを想定していたが、リーフレットを読み進めると、利用者も悪質であることをわかった上で利用していることが多いと理解した。利用者も悪質であるとわかっている場合、上の段の見出し「そのお金、闇金融からの借金かもしれません！」と、ページ中央部で伝えたい「後々の高額な違約金（キャンセル料）名目の金銭の支払いによりかえって生活が悪化し、多重債務に陥る危険性があります」などの部分で伝えるメッセージが変わるのではないか。ほかに、今までのリーフレットにも共通するが、金銭的に追い詰められて判断能力が正常でない状態で手を出してしまうというケースもあると思う。ぎりぎりの状態にある人達の相談先が載っているとよいと思った。
- タイトルと中身の印象が違った。一番上の「悪質な業者にご注意ください」というタイトルより、その下の「そのお金、闇金融からの借金かもしれません！」が注意喚起として一番大事に感じるので、ここを大きくするといいと思う。キャンセル料という言葉の方が馴染みがあるので、「キャンセル料（違約金）」と記載した方がよいのではないかと思う。
- 悪質な業者のイラストを分かりやすいような表記にしてもらえるとありがたいと思う。知的障がいのある方や漢字の読めない方にも分かるようにしてもらえるといい。
- 取り扱う商品について、スマホやゲーム機など具体的なイメージがあるようなので、絵に反映できていたら直感的に理解できると思う。

<個人間融資に手を出すと個人情報晒される（4コママンガ）について>

- この4コマを見に行ったら、SNSにはあまり反応されていなかった。発信の方法として、金融庁のアカウントではなく、個人間融資の注意喚起に特化したアカウントで投稿されていたのが気になった。4コママンガという発想自体は、文字だらけになるより分かりやすくてよいと思う。
- 発信するアカウントが金融庁全体のアカウントでないことは自分も気になった。元々アカウントを見ている人が多くなければ発信にならない。また、文字の量や書き方が気になるので、4コマの作成をプロに依頼することができないか。騙す側が書いていそうなレイアウトだと思ってしまった。最初にアカウント名を見ていなかったら、怪しいポストと思ってしまいそうだった。一番上に「金融庁」と書くだけでもいいので、何か信用できるポストだと分かる表示があるといい。
- 同意見。また、マンガの中の猫の吹き出し「個人で融資してます！ブラック可！」が抽象的だと感じた。SNSでやりとりをしているということが分かりにくい。

- 「借りパクしてる」、「DM 送ってみよう」などの表現から、若い人向けに発信しているのかなということが伝わる。対象者を直接書くのではなく、マンガの中で今時の言葉を使って表現しているのがいいなと思った。金融庁のアカウントではなく、個人間融資の注意喚起に特化したアカウントで発信していることについては、自分もリポスト、いいね、閲覧数などを見て同じことを思った。各地方の財務局や自治体で引用やリポストをすると、より広く発信できると思う。

#### <ひととき融資にご注意（4コママンガ）について>

- ひととき融資は女性がターゲットで、性的な行為を出しにとられるケースが該当するということだと理解している。そもそも性的被害の相談自体がしにくいので、女性に限らないが、性的被害に関する相談窓口も掲載してよいのではないかと思った。「ひととき融資」と名前がついているくらいなので、他とは異なるアプローチとして、相談先があるとよいと思う。
- 情報量が多い。流れとしては読めばわかるが、要素としてみたときに、3コマ目で性的な関係を示したところで、4コマ目では個人情報晒されそうで困っているということだけ載っている。3コマ目と4コマ目の繋がりが見えない。起こることとしてはこの流れなのだろうが、もっとわかりやすく整理したらよい。掲示板に個人情報を晒したことが危険と伝えたいのであれば、そこをクローズアップした方がよい。
- 情報量が多く、最初から読むとなると分からないことが多い。簡潔に書いてもらいたい。
- 1コマ目でひととき融資のきっかけがあり、2コマ目できっかけを狙う悪質業者がいて、3コマ目で悪質業者の思うつぼ、という流れが4コママンガにすると分かりやすい。自分も3、4コマの間の展開が飛んでいて唐突に感じた。例えば、2コマ目を2つに切り分けて左に悩んでいる女性、右にだまそうとしている男性、など入れると伝わりやすいと思う。コマを切り分ければ枠が空くので、3コマ目と4コマ目の間に情報を追加することも出来る。実際に会ってお金を借りることと個人情報漏洩のどちらにフォーカスを当てるのかは考えた方がよいポイントだと思う。
- タイトルの括弧書きの「女性がターゲットの悪質な貸付」について、被害を受けるのは女性だけではない可能性がある。ここまで来てほかすよりは、もっと直接的に書いた方が注意喚起としてはいいと思う。自分はひととき融資という言葉が知らなかった。名前を付けた方が検索をしやすいため名前を付けるのはいいが、個人間融資と違う意味があるのであれば、意味が直接的に伝わる記載をした方が注意喚起になると思う。「性的行為を求める貸付」などといった表現の方がいいと思う。

#### <クイズ動画について>

- 普通の動画として公開されているが、それよりもショート動画としてすごく良い構成だと思う。最初に突飛な2択があり、共通点を考えてもらって答えを表示するという流れはいいと思う。通常の動画だとSNSで検索して積極的に再生しにいかないと思うことができないが、ショート動画だと流し見できる形になるため、よりいいのではないかと思う。
- 概要欄に相談窓口をつけて相談先に飛べるといいと思う。
- 再生数がXに投稿されたポストよりもかなり多い。動画は発信に効果があるのだなと思った。動画の始めに「この2つの共通点は」と出しているのは面白いと思う。目に留まって無意識に考えてしまうと

感じたので、この発想は面白いと思った。

- 内容は良いと思う。せつかく 15 秒と短めなので、ネットやテレビで CM として流してみたりすると思う。他の人気の動画投稿アプリでも流せば、多くの若者に見てもらえると思う。

#### 【テーマ：注意喚起の方法について】

○このような注意喚起の広告はどのような場所にあると目にとまりやすいと思いますか。（例えば、駅構内、電車内、学校内等）

- 銀行窓口や ATM の近くで流せるとよい。銀行は普段よく行く場所なので、目に留まると思う。
- 若者がよく行く場所に出せるといい。図書館などの公共施設でもよい。例えば、お金に関する本を置いているスペースに出すといいと思う。
- 市役所や区役所に置くといいと思う。リーフレットもいいが、ポスターの方が目に付くと思う。中高生など若い層に対しては、やはり学校に置くのが効果的だと思う。
- 全体に共通して文字の量が多いので、電車やバスなどずっと人が留まっているところに出すのがいいと思う。通りすがりでは読めないで、そういった場所を狙った方がいい。

○SNS（YouTube、X、Instagram）で配信をしておりますが、他に若者が目にしやすい方法や時間帯はありますか。

- 休日や、平日の夕方・夜に SNS を見ることが多い。
- 仕事や学校の休み時間に見ることが多い。
- 総務省が VTuber などの若い人に人気がありそうな層とのコラボをしていた。金融庁でもそのような方法でやるといいと思う。闇金融の危険性を伝えたい層ほど、金融庁などのアカウントをフォローしていないと思う。逆に、悪っぽい人とコラボするのもいいかもしれない。闇金に手を出してしまいそうな人たちに人気のある人とコラボすると、頭打ちとなっているところが改善できると思う。
- ゆるキャラとコラボして発信していくといいと思う。SNS の中でも、YouTube や Instagram での発信がいいと思う。
- 金融庁からのアカウント発信は厳しいと思う。仲間内のコミュニティがあると、金融庁の投稿をリポストするのは、お堅い感じがあってしにくいと思う。VTuber などとコラボして、コラボ先のアカウントの投稿をリポストする方が、ハードルが低いと思う。
- お金の力にはなってしまうが X は広告が流れてくることがあるので、それを活用するのもいいと思う。フォローしているかどうかに関係なく目には留まる。YouTube や Instagram でも広告として使うことができる。

○若者に闇金に手を出さないようにしてもらうには、どうしたらよいと思いますか。

- 若者に限らないが、銀行などの合法的な機関では、個人では借りづらいのもあると思う。すでに借金を繰り返していても借りられないという人向けに相談先を提示できると良い。ギャンブル依存症との併発も少なくないと聞くので、闇金に手を出してしまうような経済状況に至る原因の治療につながる手



助けをできるといいと思う。買い物中毒などもある。

- 取り締まりはいたちごっこになってしまうので、第三者が通報できる場所を示す方が分かりやすいと思う。例えば、Xだとコミュニティノートがつくようになった。ちょっとした正義のような行動ができると嬉しいし、周りがはまってしまっていて自分は何もできない状況でも、通報はすることができる、というような環境があるといいと思う。

○もうすぐ成人になる高校2年生全員に、紙でリーフレットを配布することについて、どう思いますか。

- 自分は紙で配布されたものはどちらかと言うと読むが、読まないときは読まない。例えば消しゴムのケースや冷蔵庫に貼る磁石など、日常使いできるものを書いてある方がものとして残ると思う。
- 自分ももらったものは読む方だが、パッと見て「闇金か、気を付けよう」と思って中身までは読まないこともある。読まない人は本当に読まないの、学校のごみ箱にプリントなどが捨てられているのを見ている。工夫が必要。

○どうすれば自分事として考えられると思いますか。

- 自分自身、マンガなどで闇金融に関する知識を得たところがある。5年ほど前までは闇金融が出てくる有名なマンガが複数あったが、今はそこまで有名な作品はないし、手口が巧妙化しているのかあまりマンガで見なくなった。マンガで読むと、犯罪などに巻き込まれてひどい目に遭う、ということが目に焼き付く。図書館にそういったマンガを置いておくのも、闇金に巻き込まれることがあると考えてもらうひとつの手だと思う。
- 広告などで目につくようにして自分事に思ってもらうことも大事。自分事に感じられるという意味では、SNSで流れるデマなどに対してコミュニティノートがついたことで、自分が判定する側になったのだと感じるようになった。注意する側という立ち位置で通報ができる窓口などがあると意識が変わるのではないかなと思う。

いけんひろば後のアンケートでお書きいただいた意見

- 闇金融の表記が少し分かりにくい所がある。

以上